9月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手　石原　恭

行った主な活動

梨の収穫・販売



9月は豊水、あきづき、恵水、二十世紀の収穫・販売を行いました。早朝に収穫した梨を袋詰めし、近隣の農産物直売所へ運搬して陳列しました。また、9月からは従来の3か所に加えて、道の駅ひたちおおたでの販売も始まりました。

活動を行った感想など

- 8月と比べて、9月は複数の品種が一斉に熟す時期となり、収穫や袋詰め、直売所への運搬・陳列などを効率よく進める必要がありました。
- 雨の日が続いたことで、果実が濡れていると本来の色合いが分かりにくく、収穫適期を判断する際に苦労しました。天候によって果実の見え方が変わることも考慮しながら、状態を確認する必要があると感じました。
- 9月は収穫・販売期間の折り返しにあたり、連日の作業による疲労も蓄積していました。作業量が多い時期でも安定して収穫・販売を続けるためには、効率的な作業の進め方に加え、体調管理の重要性も実感しました。

今後の目標など

10月に入ると、梨の収穫・販売が終了するため、今後は直売所の片付けや圃場の草刈り、礼肥などの作業に取り組みます。収穫期の作業を振り返りながら、使用した道具や設備を整理し、来年の収穫・販売に向けた準備を進めていきます。また、礼肥などの収穫後の管理についても理解を深め、来年の独立後の安定した生産につなげていきたいです。

